



## 2025年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 ビズメイツ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9345 URL <https://www.bizmates.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 伸明  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部長 CFO (氏名) 和田 学 TEL 03 (3526) 2640  
 定時株主総会開催予定日 2025年3月27日 配当支払開始予定日 2025年3月11日  
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年12月期の連結業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	3,491	0.5	283	△25.2	268	△21.1	197	△14.2
2024年12月期	3,474	10.8	378	8.7	340	7.0	229	15.3

(注) 包括利益 2025年12月期 193百万円 (△20.3%) 2024年12月期 242百万円 (16.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	60.86	60.11	10.8	10.0	8.1
2024年12月期	72.13	70.61	14.1	14.3	10.9

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	2,675	1,909	71.3	587.68
2024年12月期	2,696	1,756	65.1	547.23

(参考) 自己資本 2025年12月期 1,908百万円 2024年12月期 1,755百万円

(注) 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	224	△97	△93	1,688
2024年12月期	430	△365	114	1,657

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00	48	20.8	2.9
2025年12月期	—	0.00	—	15.00	15.00	48	24.6	2.6
2026年12月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	0.0	—

(注) 1. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の第2四半期以前の配当金については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

2. 2025年12月期の期末配当金につきましては、2026年3月3日開催予定の取締役会における、計算書類承認後の配当決議をもって、正式に決定する予定です。

3. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、通期は対前期）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,688	5.7	298	5.5	290	8.1	205	4.4	63.38

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期	3,248,104株	2024年12月期	3,208,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期	70株	2024年12月期	70株
③ 期中平均株式数	2025年12月期	3,239,502株	2024年12月期	3,186,432株

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

（参考）個別業績の概要

2025年12月期の個別業績（2025年1月1日～2025年12月31日）

（1）個別経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	3,491	0.5	235	△28.6	241	△23.8	171	△22.1
2024年12月期	3,474	10.8	329	10.9	316	9.6	220	23.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
2025年12月期	円 銭 53.08	円 銭 52.43
2024年12月期	69.24	67.78

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	2,496	1,707	68.4	525.79
2024年12月期	2,541	1,576	62.0	491.23

（参考）自己資本 2025年12月期 1,707百万円 2024年12月期 1,576百万円

（注）当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

<個別業績の前年実績値との差異理由>

2025年12月期の売上高は前年実績と比べて0.5%の増収を維持しましたが、営業利益は前年より28.6%下回っております。これは、CX0体制移行や退職者の補充により積極的に管理職等の採用を行ったことで、人件費及び採用費が前年より117百万円増加したことによるものです。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として確約する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法)

当社の決算補足説明資料につきましては、2026年2月13日(金)に当社ウェブサイトへ掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、実質賃金の上昇に伴う個人消費の持ち直しや、円安為替相場の安定化を背景としたインバウンド需要の定着などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、国内における円金利上昇局面への移行や、米国新政権の外交・通商政策に伴うグローバル・サプライチェーンの再編など、依然として不透明な情勢が続いております。

このような状況下、当社グループの主力事業であるランゲージソリューション事業は、オンラインビジネス英会話「Bizmates」、英語学習アプリ「Bizmates App」、コーチング「Bizmates Coaching」によるAIと人の強みを融合させたハイブリッド型学習体験を提供することで、より一層の顧客層の獲得を目指すと共に、グローバル人材の採用・転職支援等を行うタレントソリューション事業との相互補完関係の強化を図り全社的な事業拡大を推進しております。

以上の結果、売上高は3,491,179千円（前年同期比0.5%増）、営業利益は283,416千円（前年同期比25.2%減）、経常利益は268,382千円（前年同期比21.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は197,144千円（前年同期比14.2%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

#### (ランゲージソリューション事業)

個人向けは競合激化のなか、コーチング市場において徐々に市場シェアの拡大に努めてまいりました。法人向けサービスにおいては、グローバル人材育成を目的とした異文化研修や企業のニーズに応える効果測定などラインナップを拡充するとともに、各社のグローバル人材育成課題に即したオーダーメイド型ソリューション提供を行うコンサルティング営業を強化いたしました。これらの取組みにより、法人顧客を中心に顧客基盤を拡大し、当セグメントの売上高は3,322,106千円（前年同期比2.2%増）、セグメント利益は1,020,239千円（前年同期比1.7%減）となりました。

#### (タレントソリューション事業)

国内はIT人材不足を背景に企業のIT・デジタル人材の採用意欲は依然として旺盛に推移いたしました。一方で、第1四半期に退職者が発生した結果、営業活動の進捗に遅れが生じました。下半期にかけては、人員体制の整備が進んだことで紹介決定数が順調に増加いたしました。期初の遅れを完全に取り戻すことができず、結果として、売上高は169,072千円（前年同期比24.5%減）、セグメント損失は109,546千円（前年同期はセグメント損失70,443千円）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産の部)

当連結会計年度末における流動資産は1,834,975千円となり、前連結会計年度末に比べ22,860千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が41,599千円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ42,943千円減少し、841,007千円となりました。これは主に、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定が60,397千円増加した一方で、前連結会計年度に実施した昨年本社移転に伴う旧オフィスの敷金返還により敷金が73,327千円減少したほか、繰延税金資産が12,048千円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ20,082千円減少し、2,675,982千円となりました。

#### (負債の部)

当連結会計年度末における流動負債は605,537千円となり、前連結会計年度末に比べ124,386千円減少いたしました。これは主に未払金が104,471千円減少したこと等によるものであります。

固定負債は161,392千円となり、前連結会計年度末に比べ48,681千円減少いたしました。これは主に借入金の返済により長期借入金が53,332千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は766,930千円となり、前連結会計年度末に比べ173,067千円減少いたしました。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産合計は1,909,051千円となり、前連結会計年度末に比べ152,985千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、利益剰余金が149,025千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ30,415千円増加し、1,688,175千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は224,631千円（前年同期は430,917千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益264,652千円の計上に加え、減価償却費127,864千円などの非現金支出費用の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は97,402千円（前年同期は365,760千円の支出）となりました。これは主に、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出155,021千円があった一方で、本社移転に伴う旧オフィスの敷金返還による収入77,234千円があったことと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は93,675千円（前年同期は114,412千円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる返済による支出53,332千円、配当金の支払額48,075千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しに関しましては、訪日外国人観光客の増加等により、さらなる経済活動の持ち直しが見込まれる一方、世界経済においては、ウクライナや中東情勢の緊迫、資源価格の高騰、円安に伴うインフレ懸念、欧米における金利動向等、今後も先行き不透明な経営環境が続くと予想されます。

このような状況のなか、当社グループは「日本人支援」、「企業支援」、「外国人支援」をテーマに掲げ、顧客層の拡大やコーチングサービスの高付加価値化、AI活用による顧客満足度の向上、HR領域等の展開を図り、企業価値の最大化を目指してまいります。

以上により、2026年12月期の連結業績見通しにつきましては、売上高は3,688,962千円、営業利益は298,928千円、経常利益は290,164千円、親会社株主に帰属する当期純利益は205,871千円を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,632,272	1,673,871
売掛金	48,845	37,998
商品及び製品	—	1,373
その他	130,997	121,732
流動資産合計	1,812,114	1,834,975
固定資産		
有形固定資産		
建物	286,403	297,203
減価償却累計額	△32,428	△50,839
建物（純額）	253,974	246,364
工具、器具及び備品	151,229	154,557
減価償却累計額	△73,291	△86,974
工具、器具及び備品（純額）	77,937	67,583
有形固定資産合計	331,912	313,947
無形固定資産		
ソフトウェア	259,905	401,100
ソフトウェア仮勘定	95,955	15,158
無形固定資産合計	355,860	416,258
投資その他の資産		
繰延税金資産	40,776	28,727
敷金及び保証金	155,401	82,073
投資その他の資産合計	196,177	110,801
固定資産合計	883,951	841,007
資産合計	2,696,065	2,675,982

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	28,799	26,139
未払金	316,287	211,815
1年内返済予定の長期借入金	53,332	53,332
未払法人税等	47,216	9,340
未払消費税等	27,591	56,456
契約負債	245,912	236,652
その他	10,784	11,801
流動負債合計	729,924	605,537
固定負債		
長期借入金	90,002	36,670
資産除去債務	108,728	110,223
退職給付に係る負債	11,344	14,499
固定負債合計	210,074	161,392
負債合計	939,998	766,930
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	128,825	132,872
資本剰余金	478,629	482,676
利益剰余金	1,114,556	1,263,582
自己株式	△63	△63
株主資本合計	1,721,948	1,879,068
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	33,524	29,750
その他の包括利益累計額合計	33,524	29,750
新株予約権	579	217
非支配株主持分	13	14
純資産合計	1,756,066	1,909,051
負債純資産合計	2,696,065	2,675,982

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,474,071	3,491,179
売上原価	832,714	837,045
売上総利益	2,641,356	2,654,133
販売費及び一般管理費	2,262,477	2,370,716
営業利益	378,879	283,416
営業外収益		
受取利息	172	2,167
中途解約収入	65	106
雑収入	529	624
営業外収益合計	767	2,897
営業外費用		
支払利息	660	1,275
為替差損	17,339	14,505
和解金	16,227	—
その他	5,147	2,151
営業外費用合計	39,374	17,931
経常利益	340,272	268,382
特別損失		
固定資産除却損	5,133	3,730
特別損失合計	5,133	3,730
税金等調整前当期純利益	335,138	264,652
法人税、住民税及び事業税	102,678	55,489
法人税等調整額	2,609	12,017
法人税等合計	105,287	67,506
当期純利益	229,850	197,145
非支配株主に帰属する当期純利益	1	1
親会社株主に帰属する当期純利益	229,849	197,144

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	229,850	197,145
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	12,847	△3,774
その他の包括利益合計	12,847	△3,774
包括利益	242,697	193,371
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	242,695	193,370
非支配株主に係る包括利益	2	0

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	124,677	474,481	884,707	—	1,483,867
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	4,147	4,147			8,295
親会社株主に帰属する当期純利益			229,849		229,849
剰余金の配当					
自己株式の取得				△63	△63
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	4,147	4,147	229,849	△63	238,081
当期末残高	128,825	478,629	1,114,556	△63	1,721,948

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	20,678	20,678	1,063	11	1,505,620
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)					8,295
親会社株主に帰属する当期純利益					229,849
剰余金の配当					
自己株式の取得					△63
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	12,846	12,846	△483	2	12,364
当期変動額合計	12,846	12,846	△483	2	250,446
当期末残高	33,524	33,524	579	13	1,756,066

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	128,825	478,629	1,114,556	△63	1,721,948
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）	4,047	4,047			8,094
親会社株主に帰属する当期純利益			197,144		197,144
剰余金の配当			△48,118		△48,118
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	4,047	4,047	149,025	—	157,119
当期末残高	132,872	482,676	1,263,582	△63	1,879,068

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	33,524	33,524	579	13	1,756,066
当期変動額					
新株の発行（新株予約権の行使）					8,094
親会社株主に帰属する当期純利益					197,144
剰余金の配当					△48,118
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△3,774	△3,774	△361	0	△4,134
当期変動額合計	△3,774	△3,774	△361	0	152,985
当期末残高	29,750	29,750	217	14	1,909,051

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	335,138	264,652
減価償却費	111,899	127,864
敷金償却	4,384	—
固定資産除却損	5,133	3,730
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2,610	3,324
受取利息	△172	△2,167
支払利息	660	1,275
和解金	16,227	—
売上債権の増減額 (△は増加)	1,967	10,846
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,808	△2,493
未収入金の増減額 (△は増加)	△1,908	△1,023
前払費用の増減額 (△は増加)	△22,494	△10,631
未払金の増減額 (△は減少)	90,489	△104,679
未払費用の増減額 (△は減少)	3,182	1,036
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△20,331	28,864
契約負債の増減額 (△は減少)	71,937	△9,260
その他	△12,164	△768
小計	585,150	310,570
利息の受取額	172	2,167
利息の支払額	△660	△1,275
和解金の支払額	△16,227	—
法人税等の支払額	△137,517	△86,831
営業活動によるキャッシュ・フロー	430,917	224,631
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△225,128	△18,914
無形固定資産の取得による支出	△140,472	△155,021
敷金及び保証金の差入による支出	△1,915	△701
敷金及び保証金の回収による収入	1,756	77,234
投資活動によるキャッシュ・フロー	△365,760	△97,402
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	160,000	—
長期借入金の返済による支出	△53,336	△53,332
株式の発行による収入	7,812	7,732
自己株式の取得による支出	△63	—
配当金の支払額	—	△48,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	114,412	△93,675
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,781	△3,137
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	189,351	30,415
現金及び現金同等物の期首残高	1,468,408	1,657,759
現金及び現金同等物の期末残高	1,657,759	1,688,175

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検証を行う対象となっているものであります。当社グループは「ランゲージソリューション事業」「タレントソリューション事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

「ランゲージソリューション事業」は自社開発した通信ソフト等を利用し、外国人英会話トレーナーによるオンライン英会話レッスンの提供等を行っております。

「タレントソリューション事業」は主に外国人ITエンジニアを中心に職業安定法にもとづく有料職業紹介事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(1) ランゲージソリューション事業

主にビジネス特化型オンライン英会話レッスン「Bizmates」を提供しており、個人顧客、法人顧客共にサービス提供は契約期間にわたり均一のサービスを提供するものであるため、時の経過に応じて履行義務が充足されると判断し、役務を提供する期間にわたり収益を認識しております。

(2) タレントソリューション事業

当社のコンサルタントを通じて外国人ITエンジニアを中心に人材紹介を行う「GTalent」及びグローバルIT人材に関する採用マッチングプラットフォームを提供する「GitTap」を展開しており、成功報酬をクライアント企業から得て売上高を計上しております。成功報酬売上については、求職者がクライアント企業に入社した時点で履行義務を充足していることから、当該時点で収益を認識しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1, 2, 3	連結財務諸 表 計上額
	ランゲージ ソリューション事業	タレントソ リューション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,250,224	223,847	3,474,071	—	3,474,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,250,224	223,847	3,474,071	—	3,474,071
セグメント利益又は損失（△）	1,038,030	△70,443	967,587	△588,707	378,879
セグメント資産	601,338	18,293	619,632	2,076,433	2,696,065
その他の項目					
減価償却費	85,887	—	85,887	26,012	111,899
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	205,079	—	205,079	332,536	537,615

- (注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△588,707千円は各報告セグメントに配賦していない  
  全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般  
  管理費であります。
2. セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない現金預金等の全社資産であり  
  ます。
3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社の設備投資額等であり  
  ます。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1, 2, 3	連結財務諸 表 計上額
	ランゲージ ソリューション事業	タレントソ リューション事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,322,106	169,072	3,491,179	—	3,491,179
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	3,322,106	169,072	3,491,179	—	3,491,179
セグメント利益又は損失（△）	1,020,239	△109,546	910,692	△627,275	283,416
セグメント資産	668,726	13,345	682,071	1,993,911	2,675,982
その他の項目					
減価償却費	95,695	—	95,695	32,169	127,864
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	167,064	—	167,064	7,311	174,375

- (注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△627,275千円は各報告セグメントに配賦していない  
 全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一  
 般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない現金預金等の全社資産でありま  
 す。
3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社の設備投資額等であり  
 ます。

**【関連情報】**

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年1月1日 至 2025年12月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	547.23円	587.68円
1株当たり当期純利益	72.13円	60.86円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	70.61円	60.11円

(注) 1. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産額」および「1株当たり当期純利益」並びに「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	229,849	197,144
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	229,849	197,144
普通株式の期中平均株式数(株)	3,186,432	3,239,502
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	68,661	40,184
(うち新株予約権(株))	68,661	40,184
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。